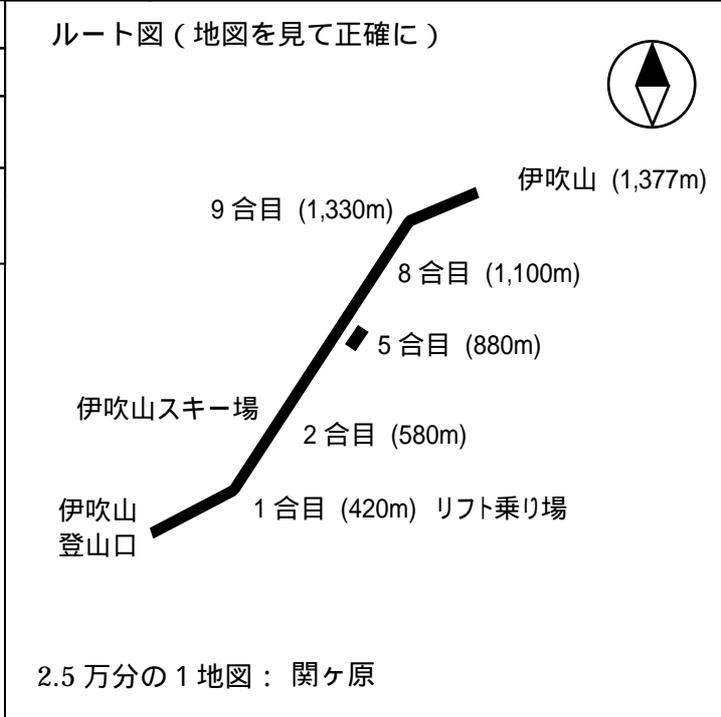


| | | | | | |
|--|------|-----|---------------|------------|-------------------------|
| 6月度 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small> | | 報告者 | 松中真理子 | 参加 メンバー | CL:山田 SL:松中 吉川、飯谷 |
| | | 報告日 | 7/12 | | |
| 山域 | 近江山系 | 山行日 | 2006年6月17日(土) | | |
| 山名 | 伊吹山 | | | | |

| | | |
|------|----------|------------------|
| 山行目的 | トレーニング登山 | コースタイム(天候:天気図記号) |
|------|----------|------------------|

配布先
集会:12
山行:1
リーダー-
原紙:集会担当者



6/17(土)
曇り時々晴れ後雨
07:00 本社正門前P発
09:00 伊吹山登山口着
09:10 伊吹山登山口発
09:40 1合目着
10:00 2合目着(休憩)
10:30 3合目着
10:40 4合目着
10:50 5合目着(休憩)
11:20 (休憩)
11:50 8合目着(休憩)
12:15 9合目着
12:30 伊吹山山頂到着
13:50 山頂発、下山
14:40 5合目着(休憩)
15:40 1合目着(雨宿り)
16:10 伊吹山登山口着
16:30 「葉草の湯」着
18:00 「葉草の湯」発
19:40 本社正門前P着

山行報告 梅雨に入り、天気が気になる所だったが、幸いにも登りは雨に降られることなく、時折晴れ間もあり、汗を流しながら初夏の山行を楽しんだ。標高 1,377m で1~10 合目まであり、途中、リフト乗り場付近からスキー場を登る。2合目を過ぎたころ、一本取った。ちょうど琵琶湖と鈴鹿山脈が眼下に広がっており景色が素晴らしかった。3合目辺りになると、ゆるやかな道の真正面に見事な山容が見えてきた。これから挑む山頂への最後の登り・・・が徐々に近づいてくる。登りは4合目から始まったが、5合目に小屋があるのを発見！自動販売機まで置いてあるのには少々驚いたが、さすが百名山だけあって設備が整っている。そのせいか登山客も多く、山頂まで数珠繋ぎに歩いているのが見える。ここからはジグザグに進む上りで、岩や石がゴロゴロしていて登りにくい。徐々にペースが落ちてくるが、6合目、7合目もいつの間にか通り過ぎ、8合目辺りになると、白や黄色の花々を至る所で見かけ、勇気づけられる。後で、ミヤマコデマリ、ミヤマカタバミ、ヤマブキソウという花であることを知った。時折感じるそよ風が冷たくて気持ちが良い。何度か休憩を取りながら最後の登りを終えたころ、9合目に到着。ここから山頂まではなだらかな稜線で、山頂の小屋で「ソフトクリーム」ののぼりを見つけて大喜び。12:30 山頂到着。三角点を探し当てた後は、そのまま小屋へ直行、数分後にはソフトクリームをほおぼっていた。山頂は、大勢の登山客とみやげ屋などで大賑わいだった。

1時間半ほどくつろいだ後、13:50に下山した。5合目付近で雨が降り出し、更にはカッパが必要になり、足元が滑りやすくなった。雨の中の下山はあまり体験したことがなかったので少し緊張感を味わった。16:10 登山口に到着。近くの「葉草の湯」で汗を流した。

今回、初めてのSLということで、2.5万分の1の地図を手元に登った所地形や現在地などが確認でき、地図の重要性を感じました。

リーダー所見 今回は心配された雨にも降られず、メンバーにも恵まれ、充実した登山が出来ました。伊吹山は5合目以後は、予想よりも斜面が急だったので、良いトレーニングになったと思います。次回は雪のある時期に登ってみたいと思いました。今回は若手のみで山行を行いました。充実した登山が出来たので、今後もこのような若手メンバーで山行を企画していきたいです。



~ 山頂にはご褒美が待っていました ~

確認
(リーダー)
山
06/07/12
田
作成
(報告者)
松
06/07/12
中